

会 議 録

会議の名称	小金井市環境審議会（第1回）
事務局	環境部環境政策課環境係
開催日時	平成19年5月11日(金) 午前10時00分～11時30分
開催場所	前原暫定集会施設 C会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0名
傍聴不可等の理由等	
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 前回の会議録の確認について（資料1） (2) 小金井市新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会委員推薦について（資料2） (3) その他 3 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小金井市地球温暖化対策実行計画について（資料3） (2) 小金井市環境行動指針について（資料4） 4 次回審議会の日程について 5 その他
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料1・平成18年度第4回小金井市環境審議会議事録 資料2・新焼却施設の建設候補地について（市民説明会資料） 資料3・小金井市地球温暖化対策実行計画（市役所版） 資料4・小金井市環境行動指針
そ の 他	資料は、情報公開コーナー、図書館、議会図書室にある議事録に添付してあります。

平成19年度第1回 小金井市環境審議会

議事録

日 時： 平成19年5月11日（金）10：00～11：30

会 場： 前原暫定集会施設 C会議室

■ 出席者

(委員)	原 剛 会長	矢間 秀次郎副会長
	平林 聖 委員	田村 千加子 委員
	千村 裕子 委員	耕納 善子 委員
	鈴木 薫 委員	
(欠席者)	山田 昌弘 委員	村越 照子 委員
	大西 弘 委員	
(事務局)	環境部 深澤部長	環境政策課 石原課長補佐
	環境係 鉄谷係長	環境係 立川主任
	環境係 吉崎副主査	環境係 板本
(傍聴者)	なし	

■ 審議会次第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 前回の会議録の確認について（資料1）
 - (2) 小金井市新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会委員の推薦について（資料2）
 - (3) その他
- 3 報告事項
 - (1) 小金井市地球温暖化対策実行計画について（資料3）
 - (2) 小金井市環境行動指針について（資料4）
- 4 次回審議会の日程について
- 5 その他

■ 審議経過（議事録）

1 開会

原 会 長： ただ今から平成19年度第1回環境審議会を開会いたします。
はじめに、事務局から話をお願いします。

深 澤 部 長： はい、まず新年度にあたり事務局のほうの職員の紹介をしたいと思います。
新たに、環境政策課長補佐として石原課長補佐、昨年に引き続きまして環境係長の鉄谷、今年度より主任の立川、異動してまいりました副主査の吉崎、非常勤嘱託職員の板本、今日は欠席しておりますが副主査の萩です。また、私、

深澤が環境部長と環境政策課長の兼任という形で、今年度は進めていくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

2 議題

(1) 前回の会議録の確認について

原 会 長： さっそく議題にはいたいと思います。

それでは、議題（１）の前回の環境審議会の会議録の確認についてですが、何か修正等がありましたら、ご指摘いただきたいと思います。又、細部については、５月１６日までに環境政策課まで連絡していただければと思います。

現状ではないようですので、次に進みたいと思います。

(2) 小金井市新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会委員の推薦について

原 会 長： 議題（２）について、当審議会から委員を推薦してほしいということですが、経過等がありますので、事務局の方から説明をお願いしたいと思います。

深 澤 部 長： 議題（２）について説明を行った。（説明内容省略）

原 会 長： はい、ありがとうございます。

何か質問等ありますか。

千 村 委 員： この焼却施設の問題については、自分でも考えがありまして、説明会にもいきましたが、選ばれた検討委員の方たちの、ごみ処理についての勉強会のようなものはあるのでしょうか。大変失礼かもしれませんが、本当の意味でのごみ処理というものを理解していないといけないのではないかと思います。そのような時間はあるのですか。

深 澤 部 長： 色々な考えやご希望はあると思いますが、６月からの検討委員会の中で、進め方や詳細は決めていくようになります。ただ、この委員会で来年の８月まで検討していただく内容は候補地です。その中でも色々な議論があると思いますが、焼却方式などの細かい部分については、候補地を決定した後に、国分寺市と小金井市の市民参加の中で決めていくようになります。そのようなスケジュールは、資料２の２８ページにのっています。今後１０年間、このスケジュールどおりにやっついていかないと、小金井市内にごみがあふれてしまうということになってしまいます。というのは、広域支援をうけるにあたって、スケジュールどおり、またそれ以上の前倒しがないかぎり、各市の広域支援は受けられないということ、近隣市からも強く言われています。そういう部分で、このスケジュールどおりにやっついていくということが小金井市の責任なのです。

原 会 長： はい、そのような経過なのですね。

平 林 委 員： 今の話に関連しまして、先に場所を決めるということと、ごみそのものをどう処理するかということと、どちらが先かというのは、色々議論があると思いますが、方法が変わることによって場所の条件が変わってしまうという可能性がありますね。ですから場所の大きさと条件を先に決めるというのは、話が反対ではないかと思います。色々な事情があり遅くなったのですが、このことのおおよそのところを審議会なり、今度の検討委員会で、まず早急に確定させる

ように検討する必要があるのではないかと思います。

先日、市の説明会で質問をしたのですが、「焼却場」という条件付はおかしいのではないかと、右の場所がいいのか、左の場所がいいのかということをおしきりだけでなく、10年後の話ですから、小金井市として、本当にこれでいいのかということをもっと検討する必要がある。それから、技術情報についても、市民の間ではそれを持っている人が少ないし、行政のほうでもどこまでそれを持っているのか。最近、新聞などを見てもわかりますが、バイオマスの技術がどんどん進んでいます。そのようなことも含めて考えると、10年後の進歩も、ある程度想定したうえで考えないといけないのではないかと。ただ、まず場所を決めようというのは、今は疑問があります。先日質問したことは、なぜそうなったのかということです。その回答としては、小金井市が国分寺市に対して、新焼却場の建設計画を出さなければいけないことになっているので、焼却場の検討をしたいということでした。では、国分寺市が、焼却するということについて十分議論をされたのかわかりませんが、国分寺市にも検討する必要があると思いますし、10年後にごみを燃やしているというような方法は、まずなくなると私は思っています。

原 会 長： はい、わかりました。

何か、コメントはありますか。

深 澤 部 長： はい。ただ今、千村委員と平林委員の言われたことにつきましては、この審議会で議論することではありませんので、コメントはいたしません。

確かに、今まで色々なご批判がありました。今回、市民検討委員会ができて、その中で議論していただくものです。

本日は、この環境審議会から、市民検討委員会の委員を一人選んでいただくということですので、よろしくお願ひしたいと思います。

原 会 長： 今の、千村委員、平林委員が言われたのは、そういうことを認識したうえで、この場でどうするかを決めてほしいということだと思います。

他にはどうでしょうか。

矢 間 副会長： 今の平林委員の発言されたことは重要な論点ですね。

40年前、ごみの焼却場などはいわゆる迷惑施設であるから、市境にもって行って痛み分けをしようということでしたが、当時の農民の方たちの猛烈な反対運動があったと記録に残っています。当時は、平林委員のご指摘のような、物の考え方や発想、また物理的にも、エネルギーの回収といったような問題については、まったく認識がなかった時代ですから、かなり田畑が残っている所に建てたということですね。したがって、それから40数年たって、21世紀のごみ問題ということになると、効率的にエネルギー転用が可能かとか、ごみ問題の認識を、公平・平等に市民のトータルな意識の中に位置付けることが出来るかというところで、おのずから立地条件は固まってくる、というのが私の基本的な認識です。ですから、この40年の環境史の、環境政策に対する大きな変動期を経て、やっと本来あるべき姿に、うまく検討段階からベースに据え置かないと、というのが平林委員のご発言と受け止めました。したがって、当然、

そういうサイドでの認識を持ち、誰が選任されても一人で考えずに、環境審議会のほうにフィードバックしてほしいです。審議の過程を共有していきたいと思っています。

原 会 長： そうですね。共通認識を持ったうえでということですね。
他には何かありますか。

耕 納 委 員： はい、私も副会長の意見に賛成です。

深 澤 部 長： 今のご意見のとおり、環境審議会として意見を発するということになりますので、私のほうからも、検討委員会の報告をさせていただきます。

そして、この環境審議会のなかでは、環境を保全するために、どう考えるのかということで、議論していただきたいと思います。

原 会 長： ですから、ここから選ぶ委員の方は、環境審議会の委員の意向を代表するという考え方でいいですね。

この問題はとても論議の多い問題ですが、他に何かありますか。

深 澤 部 長： そうですね。相当の議論はあると思います。

矢 間 副会長： しかし、良いタイミングではないでしょうか。従来の固定観念で、ごみ問題は扱えない状況になっていますから。

原 会 長： 私も以前に立川市のほうで、ごみ対策審議会の委員長をやりにして、似たような議論をしたことがあります。ごみ問題というのは、色々な問題やマイナス波及効果みたいなものが発生することが想定されますから、深刻で、ほんとうに多様な議論が必要なのですね。

先ほどの共通認識もありますので、ぜひ私がという方がいらっしゃれば、検討課題にしたいと思いますがいかがですか。

平 林 委 員： そのお話の前に、もうひとついいでしょうか。

まさしく今、小金井にとってはアドバンテージがあるのだと思います。遅れてしまったマイナスはありますが、今の新しい技術を考慮して検討するというアドバンテージが逆にあり、小金井市がとても良い見本になる可能性も、おおいにあるということです。最近の技術は、大変な進歩をしています。バイオエタノールの技術など、色々考えていく必要があると思います。

原 会 長： そうですね。ごみ処理の技術については、確かに日進月歩のところがありますね。しかし、技術主義というのは、それがもたらす次の技術の問題がどうしてもつきまとうところがありますので、我々としては大量消費、大量廃棄をやめて、ライフスタイルの中でごみをおさえるのが基本だろうということですね。

どうでしょう、自薦がなければ他薦で、どなたかいらっしゃいませんか。

平 林 委 員： 私は仕事の関係もありまして、このようなことをやってきましたので、興味関心があります。小金井市のために何かお役に立つことがあれば、最後の自分の仕事として、やってみたいと思います。

(拍手)

原 会 長： はい、ありがとうございます。

他にはございませんか。何もないようでしたら、平林委員を推薦することにしたと思います。

(満場一致で賛成)

原 会 長： では、平林委員に決定したいと思います。

深 澤 部 長： ありがとうございます。

3 報告事項

(1) 小金井市地球温暖化対策実行計画について

原 会 長： それでは、次にいきます。

資料3の小金井市地球温暖化対策実行計画ですが、前回の皆さんの意見に基づいて、市のほうで作り直しました。説明をお願いします。

鉄 谷 係 長： 資料3について改正部分の説明を行った。(説明内容省略)

原 会 長： はい、ありがとうございます。

前回、ご発言された方で、変わっている部分について何かありますか。

平 林 委 員： これは市役所の庁舎内の計画ということですね。この、エネルギー日本に関連する問題は、ごみだとか、水道の施設などのほうが大きいので、事業所の数字も入れた、小金井市の総合的な行政体制の今後の方向性という捉え方をしないと、市役所の中だけでこれだけ節約した、というだけでは片手落ちではないかと思います。

原 会 長： その点はいかがですか。

鉄 谷 係 長： 今回の冊子に関しては、見本を見せるという意味で「市役所版」としてつくりました。この後「地域版」をつくらうと考えています。

原 会 長： それは、事業所用ということですね。

鉄 谷 係 長： はい、そうです。

原 会 長： もともと、このことの趣旨はそこにあったわけですね。自治体が最大の事業者であるというのは、施設をかかえて日々運営しているということで、報告義務をつけたということですから、今のご指摘はまったくそのとおりでですね。

平 林 委 員： 考え方としては、小金井市として全体で、行政の事業を含めてどのような環境対策を進めていくのかということですね。

原 会 長： 地域版をつくるスケジュールは、どのようになっていますか。

鉄 谷 係 長： すみません、今後、近隣市等の状況を見ながら策定していきたいと思っています。

原 会 長： そこには事業者が入ってくるということですね。

鉄 谷 係 長： はい、そうです。

平 林 委 員： 私も勘違いしていました。今回のものは、市庁舎内だけですね。

千 村 委 員： あの、市庁舎の中といっても、これは教育委員会のほうの学校もはいますね。学校には今も係わっているのですが、このことに関してはとても遅れています。ぜひ、教育委員会、先生方に対して徹底していただきたいと、すごく感じます。先生方などは、お忙しいので、環境に係わってきている時間が少ないということもあると思いますが、環境学習なども含めて、先生方に徹底してほしいという気持ちがあります。

原 会 長： はい、そうですね。

矢 間 副会長： あとは、教育行政、教育委員会の主体性の中で、環境政策をどのように位置

付けるかと、将来の快適で住みやすいまちづくりのために、次の世代がどのように受け止めるかということが重要です。一教師の責任ということではなく、教育行政の仕組みの中に浸透させていくことだと思います。

原 会 長： そうですね。教育というのは回り道のように見えて、一番確かな方法です。ぜひ、地域版をお考えになるときは、そのところを、この委員会の総意として配慮していただきたいと思います。

鉄 谷 係 長： はい、わかりました。周知徹底してやりたいと思っています。

原 会 長： 自治体でないとできないし、とても効果的ですし、大事な論点だと思いますので、ぜひお願いします。

平 林 委 員： 技術でエスコというのがありますが、これは、やると抜群に効果がありますので、そういうこともぜひご研究をしていただきたいです。ごみ焼却の問題についても、CO₂をどれだけ減らすかということも検討していきたいです。

矢 間 副会長： あとは、熱エネルギーの回収の問題ですね。たとえば、ごみを収集して運ぶ輸送コストや人口分布の状況を把握して、ごみの収集過程の統計・資料などをきちんとおさえて、それから今後の人口動態など、これから起こるであろう、予測していくべき色々な要素について、正しい情報を出せるだけの事務局体制を、小金井市がしっかり持たないといけないと思います。

原 会 長： たぶん、そういう意見が出るでしょう。

平 林 委 員： だから、ごみは、発生した所で処分するというのが、一番コストがかからないのです。たとえば、最近行政でも力を入れてきているコンポストですね。これができるだけ多くの家庭にはいれば、ごみは画期的に減りますね。ごみの80%は水ですから、それを燃やしているというのはナンセンスです。

原 会 長： わかりました。

千 村 委 員： それに関連してですが、これから10年間、ごみを減らすということが最大の目標になりますね。今のお話で、水を切っていないごみは何トンもあるということで、やはりコンポストをすすめていくべきだと思うのですが、最近、ヒーターを使ってごみを分解する処理機に、市が助成金を出しているのですが、1ヶ月200円の電気代とはいうものの、冬場はもっとかかるでしょうし、温暖化防止に逆行するのではないかと思うのです。とてもたくさんの助成金を出して買わせているという現実に、疑問があるのですが。

矢 間 副会長： というのは、背景には電力が余っているということがあるのです。

原 会 長： 的確なご意見だと思いますが、この話に関しては、社会の経済構造を変えていかないと、という話になりますね。

(2) 小金井市環境行動指針について

原 会 長： では、次の小金井市環境行動指針についてはどうでしょうか。

鉄 谷 係 長： 小金井市環境行動指針について説明を行った。(説明内容省略)

原 会 長： ありがとうございます。

前回の指摘部分等について何かありますか。

これは、市民にはどのような形で周知されるのですか。

鉄谷係長： ホームページに載せます。それから、概要版は部数があるので、各施設等に置いて、お配りできます。

原会長： 小金井市は白書のようなものはなかったでしょうか。

石原課長補佐： 環境報告書がありますが、部数はあまり多く作っていません。

原会長： 立川市でも、先日はじめて作りましたが、やはりあまり多く作らなかつたら、あつという間になくなってしまいました。学校などが副読本に使いたいという要望があるなど、市民からかなり需要があります。

田村委員： 前回もお話したと思いますが、市民に対する広報というところで、やはり市報ですね。市報をどんどん利用していただきたいと思います。環境問題について、毎回載せていただけるといいと思います。市民の一人として、やはり目に触れるところがないと勉強もしませんし、まして専門的なことは本当にわかりません。ぜひ市報を使って、わかりやすく公表をお願いしたいと思います。

石原課長補佐： はい、わかりました。

4 次回審議会の日程について

原会長： それでは、次回の日程ですがどうでしょうか。

石原課長補佐： はい、7月を予定していますので、また調整させていただきます。

原会長： わかりました。

5 その他

平林委員： あと、検討委員会のほうの情報などの提供をするのに連絡先を教えていただければ、報告をしていきますのでよろしくお願いします。

原会長： はい、わかりました。

それではこれで閉会します。

ありがとうございました。